

10月10日は体育の日でしたね！今日はスポーツに関する本をご紹介します★

『W杯（ワールドカップ）をたたかうボール』（記録への挑戦3）

岩崎 龍一／著 ポプラ社 2010年 ノンフィクション

<お勧め年齢>

幼稚園☆☆☆ 小低学年☆☆☆ 小中学年★☆☆ 小高学年★★★ 中学生★★☆  
高校☆☆☆ 一般☆☆☆

（★が多い年齢の子どもにお勧めです。）

<本の紹介>

「テルスター」「アステカ」「クエストラ」「フィーバーノヴァ」。

これらは何の名前でしょう？

答えはサッカーワールドカップの公式球の名前です。

この本では、日本企業が制作に関わった2008年ドイツワールドカップの公式球、「+（プラス）チームガイスト」を中心に、サッカーボールの進化とそれに関わる人々を紹介しています。また後半部分では、現在ではサッカーの常識となっている芝生のグラウンドの歴史と、芝生のグラウンドを実現した人々の苦勞も紹介されています。

サッカーというスポーツの進化はグラウンドで活躍する選手の進化だけではないのです。ボールが進化し、グラウンドが進化し、そしてプレーが進化する。そこにはたくさんの科学と人々の努力がつまっています。

サッカーの別の顔が楽しめる1冊です。

<子どもに手渡すときのポイント>

それぞれのスポーツをその道具の進化にスポットをあてて紹介したシリーズ「記録への挑戦」の第3巻です。スポーツそのものではなく、それを支える人々や技術に注目していることから、スポーツの本としてだけでなく職業の本としても紹介できるのではないのでしょうか？

シリーズは以下の通りです。

「記録への挑戦」

- ① 258本をうんだバット
- ② 金メダリストのシューズ
- ③ W杯をたたかうボール
- ④ 勝利のラケット



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店にあります。ぜひ手に取ってみてください。